

仙台市水道事業進捗管理にかかる基礎データ

(令和 7 年度末現在)

令和 8 年 8 月
仙台市水道局

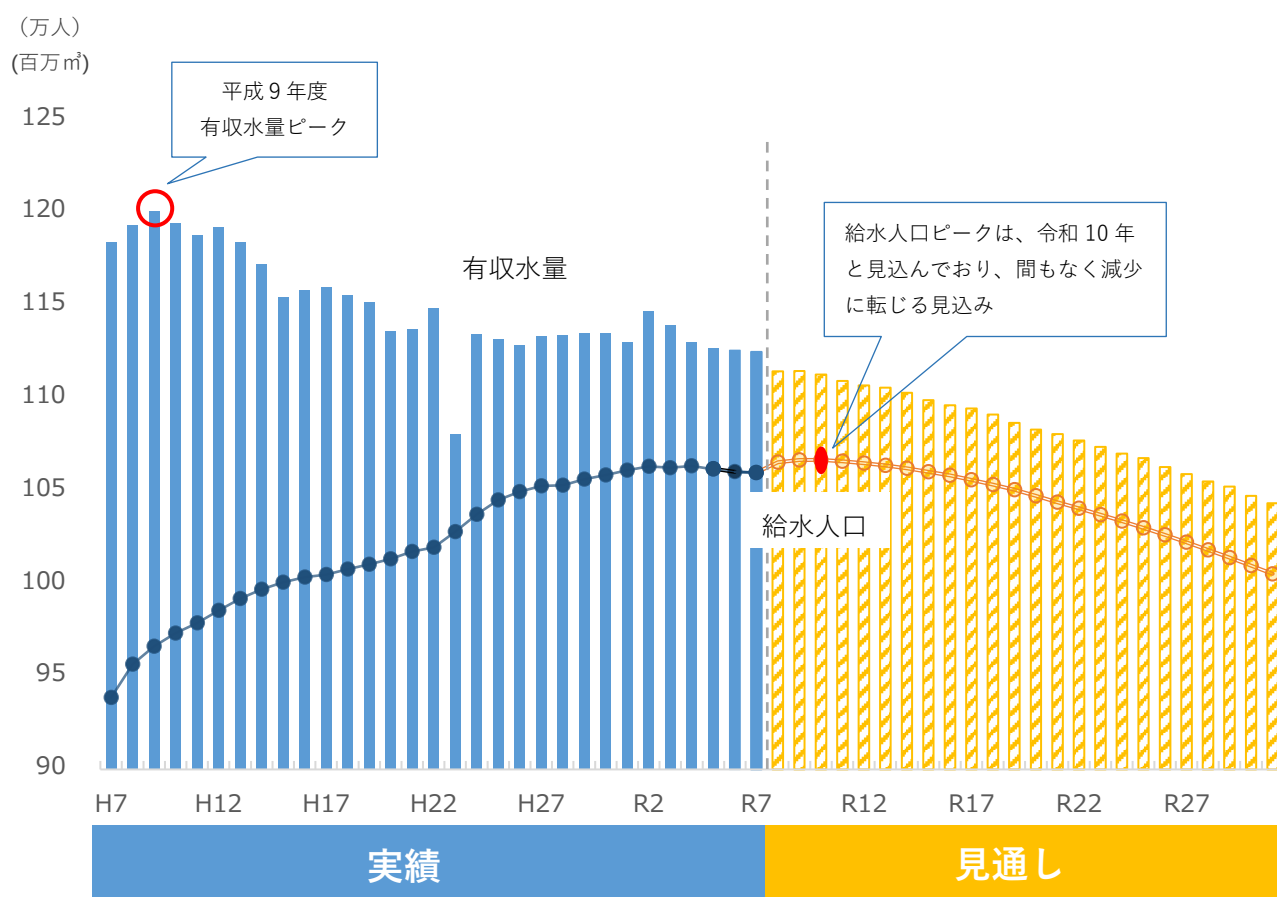
目 次

1. 長期的な水需要の現況	1
2. 水道施設の現況	3
3. 組織・人材の現況.....	4
4. 財源の現況	5
5. 9項目の経営指標による健全経営評価.....	7

1. 長期的な水需要の現況

- 給水人口については、仙台市水道事業基本計画（以下「基本計画」という。）では、ピークを令和2年度に見込んでおりましたが、本市が令和3年度に公表した将来人口推計では、令和10年に人口のピークを迎えると推計されていることから、これと連動する形で、給水人口のピークも後ろ倒しになる見通しです。
- 令和7年における本市の人口動態については、自然減が社会増を上回っており、令和7年度の給水人口においても同様の理由で減少したと考えられます。
- 有収水量については、平成9年度以降、長期的な減少傾向が続いています。令和7年度についても、令和6年度と比べ減少しました。

本市における給水人口と有収水量の見通し

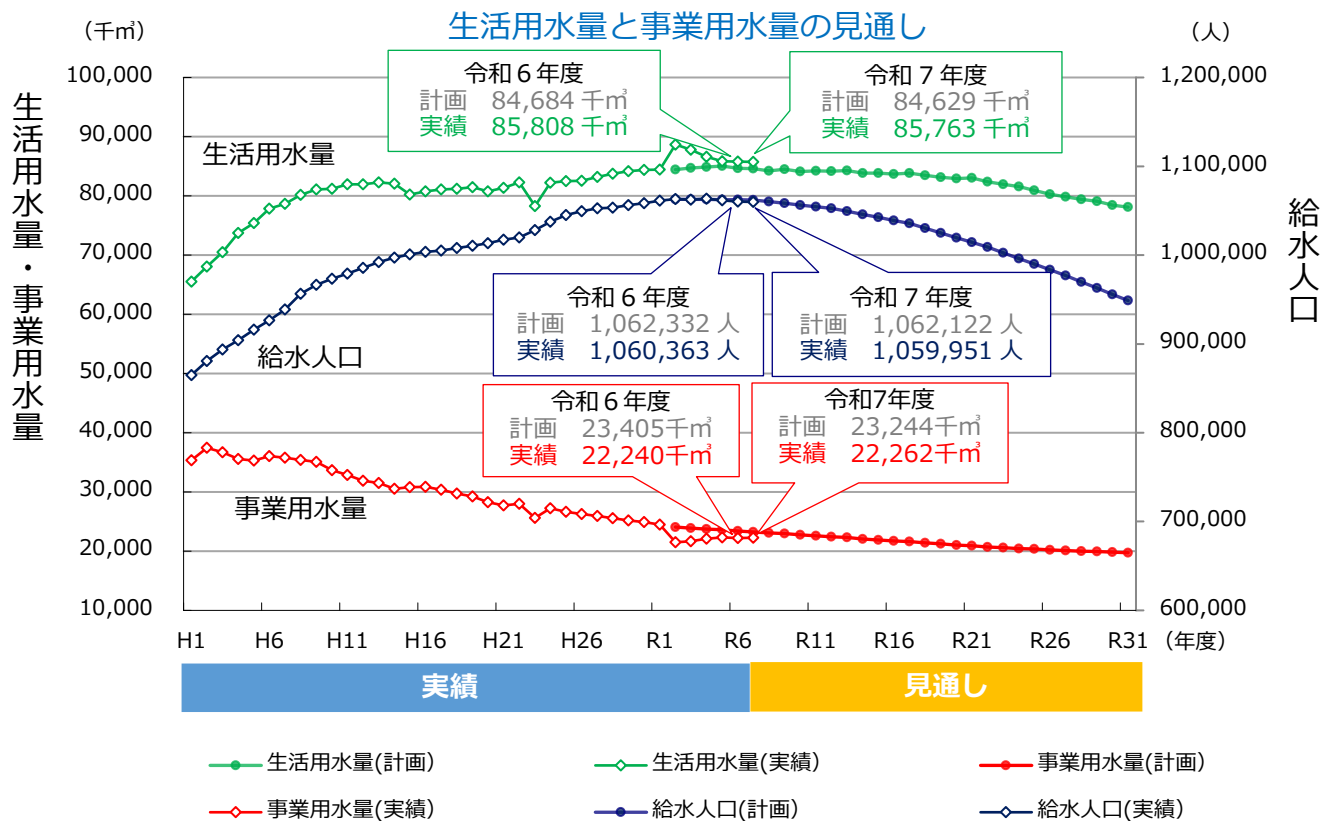


- 有収水量の大部分を占める料金水量のうち生活用水量については、令和3年度以降、減少傾向が続いており、令和7年度においても、給水人口の減少に伴い減少しました。
- 一方、事業用水量（生活用以外の水量）については、前年度から減少した令和6年度と比較して、令和7年度については観光業の活性化を背景に旅館・ホテル等において大きく増加したことを受けて、料金水量全体が増加しました。

給水人口・料金水量の推移

(単位：人、 m^3)

		(2020) 令和2年度	(2021) 令和3年度	(2022) 令和4年度	(2023) 令和5年度	(2024) 令和6年度	(2025) 令和7年度
給水人口		1,063,272	1,062,506	1,063,510	1,061,787	1,060,363	1,059,951
料金水量	生活用水量	88,679,144	87,789,160	86,582,130	85,825,821	85,808,041	85,762,587
	事業用水量	21,502,615	21,648,493	22,093,546	22,338,665	22,239,859	22,261,903

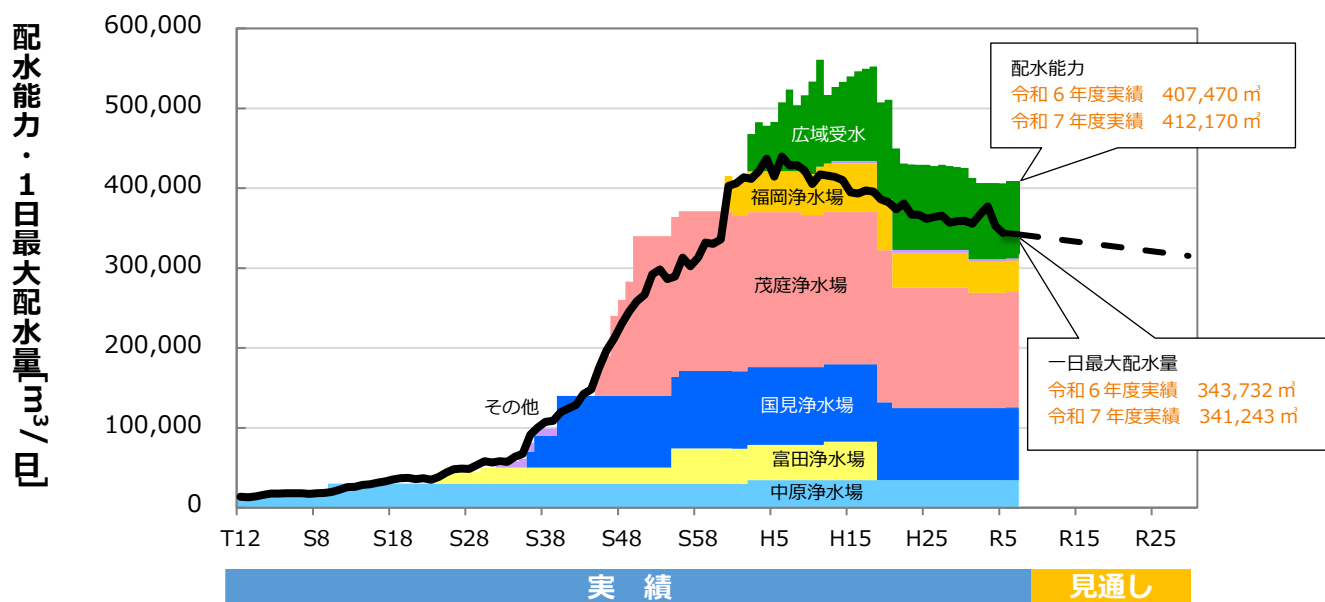


2. 水道施設の現況

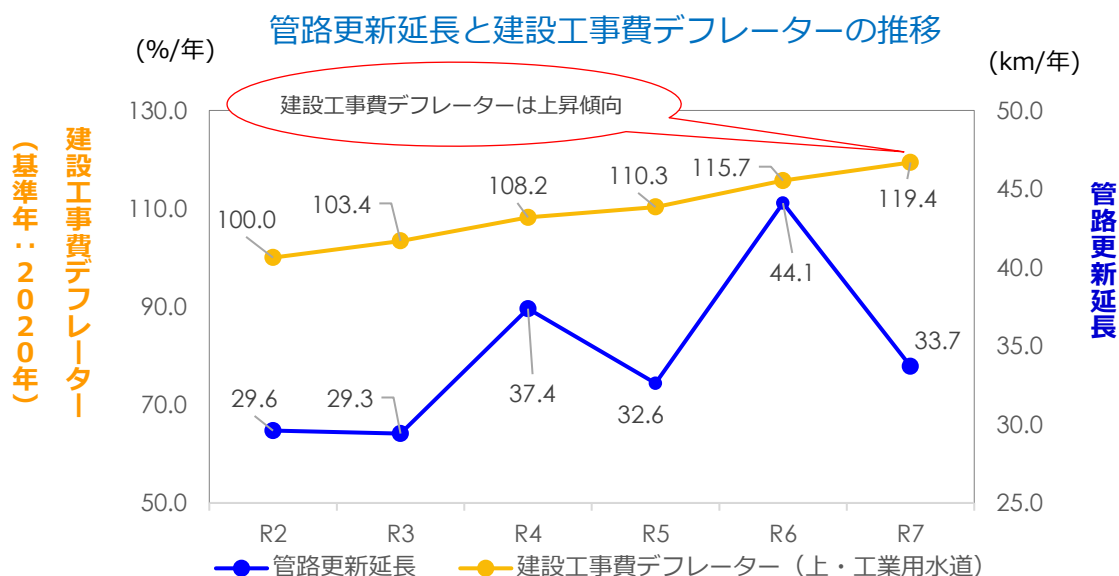
参照先 基本計画 P.12、13

- 令和7年度の一日最大配水量については、令和7年6月18日に記録（34万1,243 m³）しましたが、令和6年度と比べて減少しました。

仙台市における配水能力と一日最大配水量の推移



- 管路更新延長については、基本計画に基づき、ペースアップを図りながら更新を進めており、事業費は増加していく見込みです。
- 一方、建設工事費にかかる費用の変動を示す建設工事費デフレーターについては、人件費・資材等の高騰により上昇傾向にあります。



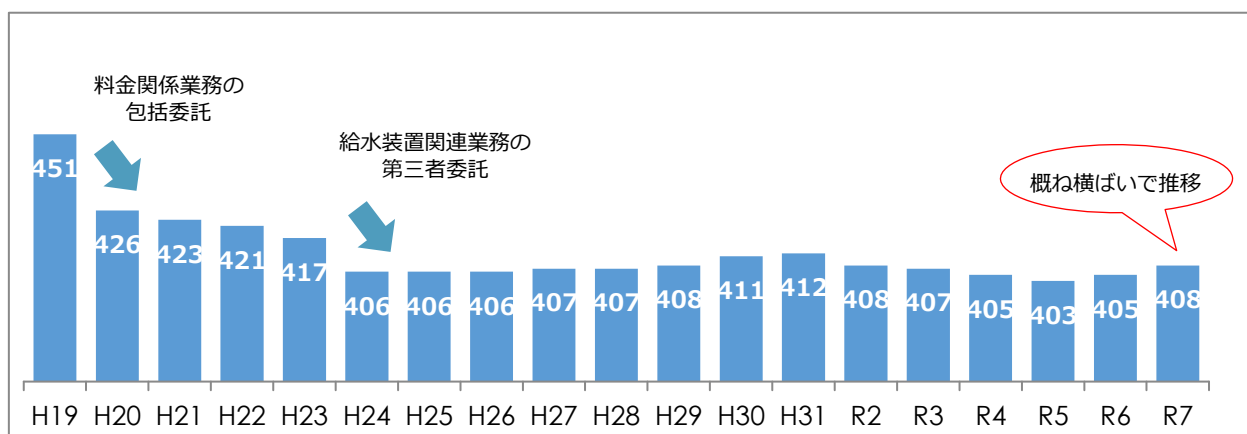
3. 組織・人材の現況

参照先 基本計画 P.14

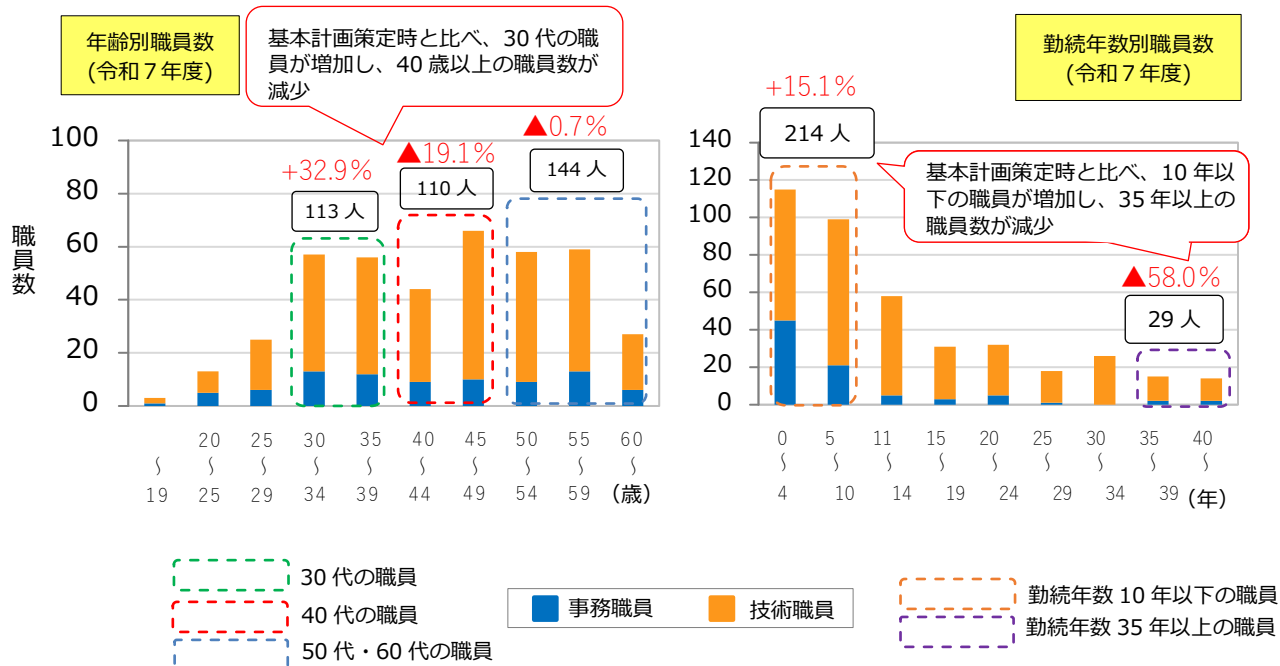
- 水道局職員数は概ね横ばいですが、年齢別職員数については、基本計画策定時と比べ、30代の職員数が増加する一方で、40歳以上の中堅・ベテラン職員数が減少しています。また、勤続年数別の職員数については、勤続年数の短い職員数の大幅な増加が見られます。
- 勤続年数の短い職員の増加により、技術やノウハウの継承が大きな課題となっています。

(人)

水道局職員数の推移



水道局職員の年齢構成・勤続年数



4. 財源の現況

参照先 基本計画 P.15、16

財政収支計画（計画策定時）

（単位：億円・税込）

区分 \ 年度		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度	R 1 1 年度
収 益 的 収 支	収益的收入	304	301	302	301	298	303	298	298	298	298
	うち水道料金収入	253	253	253	253	252	252	250	249	248	247
	収益の支出	278	253	250	254	252	284	264	267	271	274
	うち人件費	38	32	31	32	32	35	31	31	31	31
	うち受水費	50	50	50	50	50	50	50	50	49	47
	うち減価償却費等	87	90	90	93	91	90	91	96	101	103
	うち支払利息	8	7	7	6	5	6	6	7	8	9
	当年度純損益（税抜）	19	38	39	36	35	11	22	19	14	10
資 本 的 収 支	資本的收入	54	43	55	59	55	80	80	81	96	103
	うち企業債	34	34	46	47	46	59	59	63	69	61
	資本的支出	190	159	188	184	175	216	198	198	207	213
	うち建設改良費	127	99	129	125	120	158	140	142	163	170
	うち企業債償還金	63	60	59	59	55	53	58	56	44	43
	補てん財源（税抜）	203	186	195	182	178	175	150	142	133	129
運営資金残高（税抜）		67	70	61	58	57	39	32	25	22	19
企業債残高		622	596	583	572	562	538	539	546	571	589

※令和 7 年度以降の数値については、仙台市水道中期経営計画（令和 7 年度～令和 11 年度）の財政収支計画の数値を反映しております。

決算の状況（令和 7 年度時点）

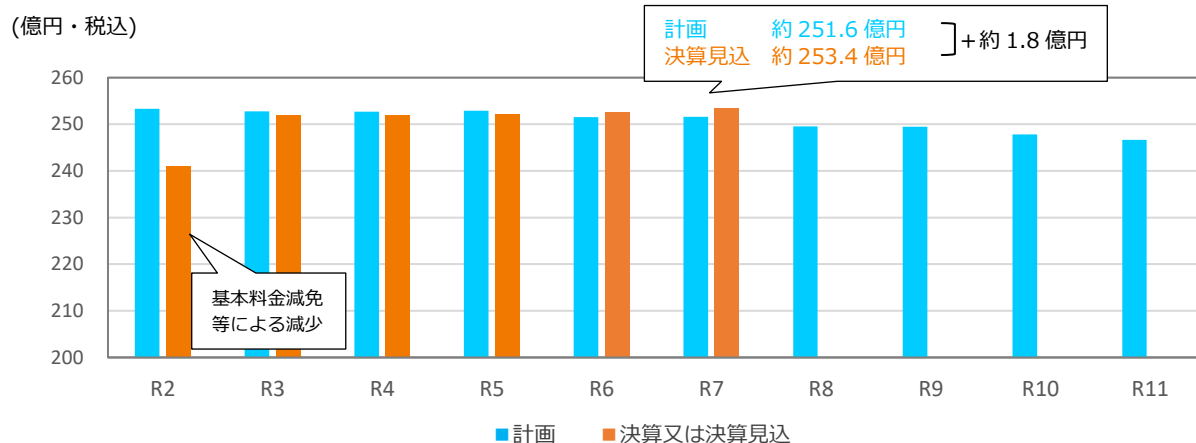
（単位：億円・税込）

区分 \ 年度		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度	R 1 1 年度
収 益 的 収 支	収益的收入	290	301	302	303	304	304				
	うち水道料金収入	241	252	252	252	253	253				
	収益の支出	255	250	252	251	248	262				
	うち人件費	32	30	31	31	31	33				
	うち受水費	49	49	49	49	48	49				
	うち減価償却費等	85	83	85	85	88	88				
	うち支払利息	8	7	6	6	5	6				
	当年度純損益（税抜）	28	43	40	42	44	31				
資 本 的 収 支	資本的收入	47	41	43	49	61	57				
	うち企業債	27	27	34	35	41	39				
	資本的支出	148	145	173	178	198	183				
	うち建設改良費	86	85	114	120	133	125				
	うち企業債償還金	62	60	59	58	55	52				
	補てん財源（税抜）	209	219	239	221	225	200				
運営資金残高（税抜）		109	115	109	92	88	74				
企業債残高		597	565	540	516	503	489				

（令和 6 年度は決算値、令和 7 年度は決算見込値）

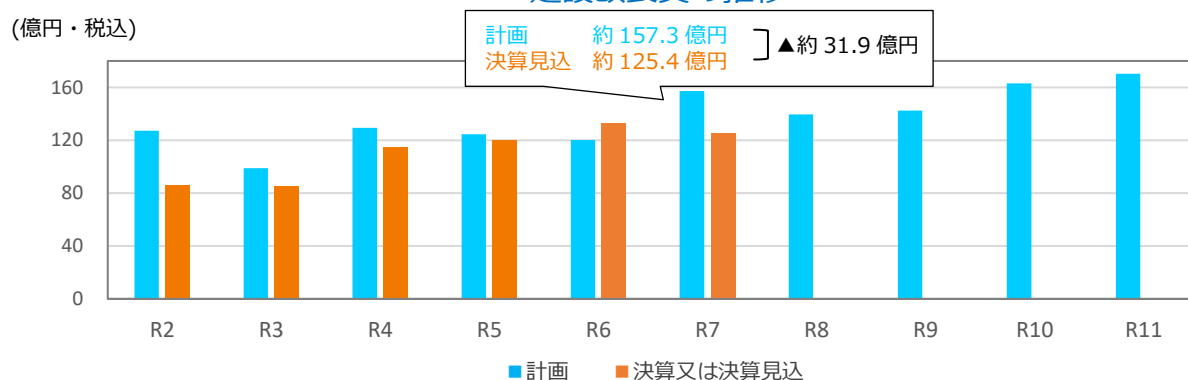
■水道料金収入については、令和2年度において、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響の支援策として、基本料金の減免を行ったこと等により計画値を下回りましたが、令和3年度以降はほぼ計画通りとなっており、令和7年度においては給水栓数の増加に伴う基本料金収入の増により、計画値を約1.8億円上回りました。

水道料金収入の推移



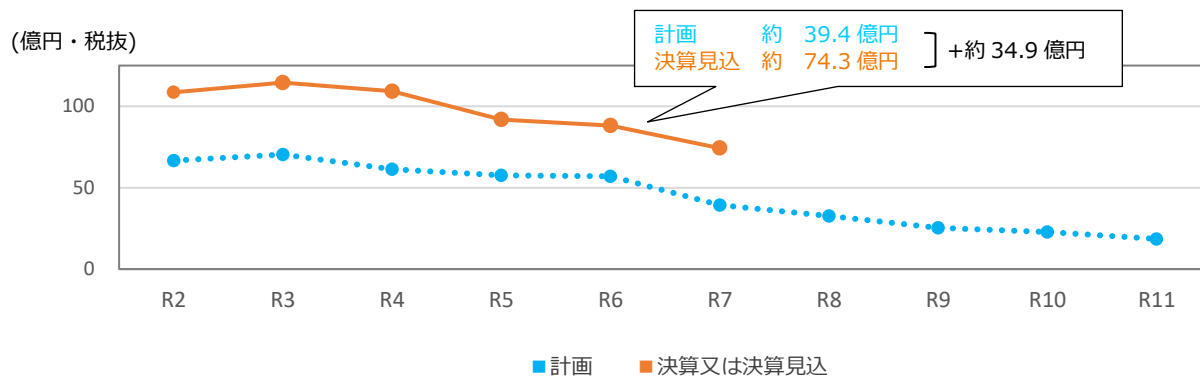
■令和7年度の建設改良費は、仙台市水道中期経営計画（令和7年度～令和11年度）策定時から約31億9千万円減少しました。

建設改良費の推移



■令和7年度の運営資金残高は、仙台市水道中期経営計画（令和7年度～令和11年度）策定時と比較し、約34億9千万円多く確保できました。

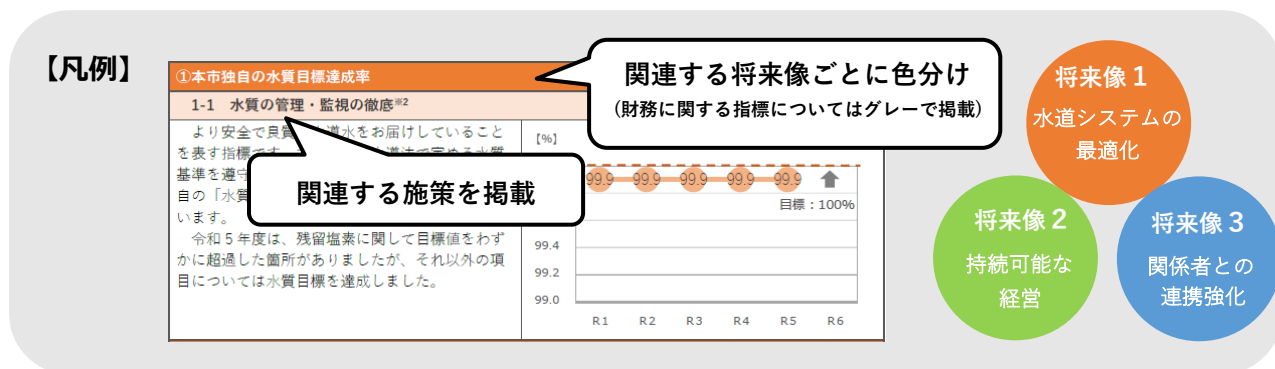
運営資金残高の推移



5. 9 項目の経営指標による健全経営評価

参照先 基本計画 P.15、16

中期経営計画では、日本水道協会の定めた規格である「水道事業ガイドライン」等に基づき、5年間で重点的に取り組む事業に関連する9項目の経営指標を設定しています。経営指標の経年変化の確認や大都市平均との比較等により、本市水道事業の健全経営が維持されているかという観点から評価を行います。



①本市独自の水質目標達成率（安全性の指標）	
1-1 水質の管理・監視の徹底	
健康に関連した項目からなり、水道水の安全性を表す指標です。本市では、水道法で定める水質基準を遵守するほか、水質基準より厳しい本市独自の「水質目標」を設定し、水質管理を強化しています。令和7年度は、通年で目標を達成することができました。	【単位:%】 本市独自の水質目標達成率 (安全性の指標)
②本市独自の水質目標達成率（快適性の指標）	
1-1 水質の管理・監視の徹底	
健康に関連した項目以外で水道水の快適な利用を表す項目からなり、水道水の快適性を表す指標です。本市では、水道法で定める水質基準を遵守するほか、水質基準より厳しい本市独自の「水質目標」を設定し、水質管理を強化しています。令和7年度は、通年で目標を達成することができました。	【単位:%】 本市独自の水質目標達成率 (快適性の指標)

③ 管路の更新率		(1 年間に更新された管路延長 / 管路総延長) × 100																													
2-1 管路更新のペースアップ																															
当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路更新のペースを示します。1 %の場合、すべての管路の更新に 100 年かかるペースであることを示します。 令和 7 年度の管路更新率は、令和 11 年度末目標値 0.92% に対し 0.76% となりました。 今後、拡張期に集中的に整備してきた管路については、更新時期が順次到来します。将来の漏水リスクを抑えるため、引き続き更新ペースアップを図っていきます。		【単位:%】 管路の更新率 <table><thead><tr><th>年度</th><th>仙台市</th><th>大都市平均</th><th>目標</th></tr></thead><tbody><tr><td>R6</td><td>0.96</td><td>0.84</td><td>0.92%</td></tr><tr><td>R7</td><td>0.76</td><td></td><td>0.92%</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td></td><td>0.92%</td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td></td><td>0.92%</td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td></td><td>0.92%</td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td></td><td>0.92%</td></tr></tbody></table>		年度	仙台市	大都市平均	目標	R6	0.96	0.84	0.92%	R7	0.76		0.92%	R8			0.92%	R9			0.92%	R10			0.92%	R11			0.92%
年度	仙台市	大都市平均	目標																												
R6	0.96	0.84	0.92%																												
R7	0.76		0.92%																												
R8			0.92%																												
R9			0.92%																												
R10			0.92%																												
R11			0.92%																												
④ 管路の耐震化率		(耐震管延長 / 管路総延長) × 100																													
2-2 施設・管路の計画的な耐震化																															
管路全体の耐震化の進捗を表す指標です。 令和 7 年度は、管路の更新、耐震化（医療機関、福祉施設及び防災拠点等の重要施設への管路含む）を着実に進めました。 本市では、昭和 53 年に発生した宮城県沖地震の経験を踏まえ、早い段階から管路の耐震化等の災害対策を進めてきたことから、大都市と比べ比較的高い耐震化率となっています。		【単位:%】 管路の耐震化率 <table><thead><tr><th>年度</th><th>仙台市</th><th>大都市平均</th><th>目標</th></tr></thead><tbody><tr><td>R6</td><td>36.2</td><td>33.4</td><td>39.4%</td></tr><tr><td>R7</td><td>37.0</td><td></td><td>39.4%</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td></td><td>39.4%</td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td></td><td>39.4%</td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td></td><td>39.4%</td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td></td><td>39.4%</td></tr></tbody></table>		年度	仙台市	大都市平均	目標	R6	36.2	33.4	39.4%	R7	37.0		39.4%	R8			39.4%	R9			39.4%	R10			39.4%	R11			39.4%
年度	仙台市	大都市平均	目標																												
R6	36.2	33.4	39.4%																												
R7	37.0		39.4%																												
R8			39.4%																												
R9			39.4%																												
R10			39.4%																												
R11			39.4%																												
⑤ 配水池の耐震化率		(耐震対策の施された配水池有効容量 / 配水池等有効容量) × 100																													
2-2 施設・管路の計画的な耐震化																															
配水池の耐震化の進捗状況を管理するために、配水池の耐震化率を指標に設定しています。 令和 7 年度に耐震化が完了した配水池はありませんでしたが、耐震基準を満たさない大年寺山配水所の休止に伴い、令和 6 年度と比較して配水池の耐震化率は上昇しました。		【単位:%】 配水池の耐震化率 <table><thead><tr><th>年度</th><th>仙台市</th><th>大都市平均</th><th>目標</th></tr></thead><tbody><tr><td>R6</td><td>68.2</td><td>76.3</td><td>75.3%</td></tr><tr><td>R7</td><td>71.5</td><td></td><td>75.3%</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td></td><td>75.3%</td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td></td><td>75.3%</td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td></td><td>75.3%</td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td></td><td>75.3%</td></tr></tbody></table>		年度	仙台市	大都市平均	目標	R6	68.2	76.3	75.3%	R7	71.5		75.3%	R8			75.3%	R9			75.3%	R10			75.3%	R11			75.3%
年度	仙台市	大都市平均	目標																												
R6	68.2	76.3	75.3%																												
R7	71.5		75.3%																												
R8			75.3%																												
R9			75.3%																												
R10			75.3%																												
R11			75.3%																												

⑥災害時給水栓の訓練実施率

(1年間の災害時給水栓訓練回数 / 災害時給水栓設置箇所数) × 100

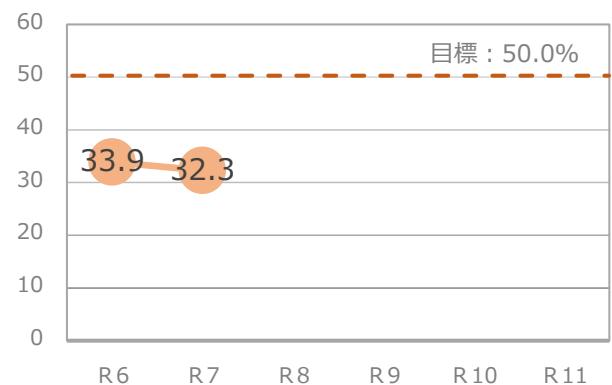
10-1 関係者と連携した災害対応の充実

地域の皆さまと連携して災害時給水栓の訓練が実施できているかを表す指標です。

令和7年度については、災害時給水栓の訓練実施回数が63回となり、訓練実施率については、32.3%となりました。

今後も、避難所立上げ担当部署への説明会や研修、イベントなどを通して、訓練回数の増加に向けた周知を行っていきます。

【単位：％】 災害時給水栓の訓練実施率



⑦経常収支比率

[(営業収益 + 営業外収益) / (営業費用 + 営業外費用)] × 100

経常費用が経常収益によってどの程度賄えているかを表す指標で、100%以上の場合は良好な経営状態であるといえます。

前年度に引き続き目標水準を上回っており、健全な経営状況を維持しました。

【単位：％】 経常収支比率



⑧給水収益に対する企業債残高

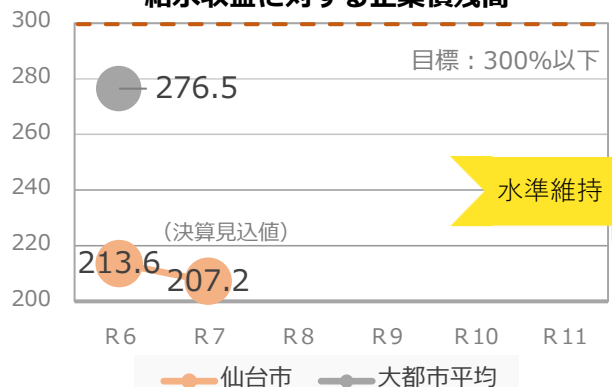
(企業債残高 / 給水収益) × 100

企業債残高からみた財務状況の安全性や、企業債残高が経営に与える影響度を表す指標です。

令和7年度は、企業債残高の縮減に取り組んだこと等により、前年度に引き続き目標水準を維持しました。

大都市の状況と比較しても低い水準となっており、企業債残高の適正管理ができています。

【単位：％】 給水収益に対する企業債残高



⑨料金回収率

(供給単価 / 給水原価) × 100

給水にかかる費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標で、100%以上の場合は、給水収益で費用が賄えていることを示しています。

令和7年度においては、前年度に引き続き目標水準を維持しており、給水にかかる費用を給水収益で賄うことができます。

